

平成25年度（第3事業年度）

## 事業報告及び附属明細書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

# I. 公益目的事業

## 生涯学習の振興及び活性化支援事業

平成 25 年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する女性の生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑な進展を図るため、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題解決に向けた事業を積極的に推進した。

特に月刊誌をリニューアルした他、女性関連施設の情報発信や子育て支援に関する事業を関係団体等と協働で実施し、相互連携事業の充実に努めた。

### 1. 研究調査事業

#### (1) 「女性の生涯にわたるキャリア開発を支える教育システム」に関する研究

これまでの財団のプログラム開発を踏まえ、APECWLN 分科会の成果を活かし、女性の生涯にわたるキャリア開発を支える教育システム構築に取り組むもので、今年度はキャリアサロンの拡大版として大学と共催した他、今後のキャリア開発を支える教育システム構築にあたっての提案をまとめた（3年次の3年目）。

① 委員：入江直子（委員長）、亀田温子、菊池朋子、中村香、三輪建二

② 内容： a. 研究調査委員会（年4回）

第1回：平成25年5月14日、第2回：7月29日、

第3回：12月2日、第4回：平成26年3月10日

b. 研究調査委員会 まとめ執筆のためのワーキンググループ  
平成26年2月3日

c. 「キャリアサロン for working women」

対象：働く女性 各回定員20人

日時：第4回：平成25年7月3日

ゲストスピーカー・濱田真里 参加者14人

第5回：平成25年9月11日

ゲストスピーカー・小林洋子 参加者8人

第6回：平成25年11月20日

ゲストスピーカー・田尻佐和子 参加者17人

場所：日本女子会館「スペース We learn」

d. 早稲田大学 × キャリアサロン

対象：男女学生、社会人 定員30人

日時：平成25年11月30日 参加者34人

場所：早稲田大学

\* 早稲田大学文学部教育学コース村田晶子ゼミキャリア班と共催

e. 「プチキャリアサロン」（キャリアサロン参加者有志の企画会議）開催

平成25年4月3日、5月8日、6月12日、7月31日、10月25日、

平成26年3月5日

## (2) 女性の教育・学習活動史研究

男女共同参画社会の実現に向けた実践や研究を自らの視点でまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団賞」として優秀作品を表彰した。また受賞レポートを記録集として発行し、広く公開した。

- ① 委員：足立則夫（委員長）、大島英樹、辻智子、平井和子、大野曜
- ② 内容：a. 委員会（年2回）
  - 第1回：平成25年3月19日
  - 第2回：平成25年11月11日（選考委員会）
- b. 応募のための説明会
  - 対象：テーマに関心のある方 定員20人
  - 日時：平成25年6月21日 参加者11人
  - 場所：日本女子会館「スペース We learn」
- c. 学びがひらく@NVEC
  - 日時：平成25年8月23日
  - 場所：国立女性教育会館 研修室
  - 内容：NVEC「平成25年度男女共同参画推進フォーラム」において選考委員と平成24年度大賞受賞者によるパネルディスカッション
- d. 応募レポート数 39編
  - 大賞1篇、奨励賞3編、選考委員特別賞2篇を選考
- e. パネルフォーラム（選考結果報告会）
  - 日時：平成26年2月15日
  - 場所：芝公園フロントタワー 会議室 定員60人 参加者53人
  - 内容：特別講演 池上彰（ジャーナリスト）、受賞者によるパネルディスカッション
- f. 受賞レポート集『学びがひらく vol.3』を平成26年3月に発行。
  - 製作部数：500 定価953円＋税

## (3) 東日本大震災復興支援事業

長期にわたる復興支援として財団の学習支援の専門性を生かし、男女共同参画の視点で、主に女性に視点を当てた被災地支援者のケアとエンパワーメントのための調査研究を行うものである。

- 内容：a. 財団HPで月1回“被災地の女性・妊産婦・子ども支援”の情報を掲載している他、月刊「We learn」でも記事を掲載した。
- b. コラボレーション・セミナーを、(公財)せんだい男女共同参画財団と協働開催（後掲）。
  - c. 国立女性教育会館が平成25年3月に開設した「NVEC 災害復興支援女性アーカイブ」に参加し、同年4月1日から公開した。なお、このアーカイブは11月から国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」から検索できる。

## 2. 人材育成事業

### (1) 女性のキャリア形成支援者育成講座

平成 22 年度作成の『女性のキャリア形成支援ハンドブック』をテキストに、対象者別のキャリア事情（現状・課題・展望）の講義と学習支援のワークショップを組み合わせ、キャリア支援者としての力量形成のための講座を開催した。

内容：a. タイトル：女性のキャリア形成支援者育成講座

ー＜初任者向け＞キャリア支援セミナーの企画と運営

b. 対象：女性センター、大学（キャリアセンター）、企業などのキャリア支援を担当して、概ね 2 年以内の方。

c. 日時：平成 25 年 11 月 16 日 定員 20 人 参加者 13 人

d. 講師：亀田温子、森山貴代、事例報告者 2 名

e. 場所：日本女子会館会議室

### (2) 子育て支援者育成講座

平成 22 年度作成のブックレット『関係づくりの難しさを“ラクラク”超える』、DVD『関係づくりで子育て支援！』を教材に、子育て支援者育成の講座を開催した。

内容：a. タイトル：子育て支援者パワーアップセミナー

ー 今だから！地域でいかそう、あなたのチカラ ー

b. 対象：子育て支援やまちづくりに携わる人

c. 日時：平成 26 年 3 月 11 日 定員 30 人 参加者 28 人

d. 講師：松田恵示、田中雅文、安部芳絵

e. 場所：日本女子会館会議室 \*NPO 法人東京学芸大こども未来研究所と共催

### (3) 情報事業担当者支援講座（新規）

女性関連施設等の情報事業担当者、図書館員、その他男女共同参画に関する情報発信に関心のある人を対象に、情報発信の新しい仕組み等を学び、ネットワーク化をサポートする講座を開催した。

内容：a. タイトル：男女共同参画の情報発信をデザインする

ー 情報事業担当者支援講座

b. 対象：女性関連施設の情報事業担当者・情報発信（広報）担当者や大学の男女共同参画担当者、図書館員

c. 日時：平成 25 年 12 月 20 日 定員 30 人 参加者 22 人

d. 講師：青木玲子、尼川ゆら、キャリアモデル 3 名

e. 場所：日本女子会館会議室

\*国立女性教育会館、図書館員のキャリア研究フォーラムと共催

## 3. 情報提供

### (1) 月刊「We learn」発行

男女共同参画の普及啓発のための専門情報誌として女性の生涯学習及び次世代育成の全国的・国際的な課題を明らかにし、研究及び実践事例に関する情報を収集・提供した。今年度 4 月号よりリニューアルをした。

① 総発行部数 16,700 部

(1,500 部/月発行、平成 25 年 11・12 月合併号は 1,700 部発行)

- ② 販売部数 5,093部 贈呈・交換部数 3,564部  
事業配布 2,925部
- ③ 「We learn」 モニターの委嘱：24人
- ④ 特集テーマ
  - 平成25年 5月号 子育て・子育て支援の今
  - 8月号 平和と女性
  - 10月号 女性の自立と支援
  - 11・12月合併号 DV被害者支援のいま
  - 平成26年 2月号 男性にとっての男女共同参画

## (2) ホームページによる情報提供

ホームページ・フェイスブックでタイムリーに財団主催事業を中心とした情報提供をした。ホームページアクセス数：平成25年度45,945件(前年度31,634件)

## (3) パネル等普及啓発資料の作成・普及

- ① パネルの貸出
  - 貸出数：10件 パネル一部複製：1件
- ② 東京ウィメンズプラザフォーラムへの展示参加
  - 日時：平成25年11月8日、9日

## (4) 資料の整備・情報公開

- ① 「スペース We learn」の公開
  - 主催事業の他、資料の閲覧以外にも、勉強会等にも利用できる場として提供した。
- ② 「ぶっく・とーく」開催
  - 「スペース We learn」利用促進のために月刊「We learn」に関連した本の著者等を招き「ぶっく・とーく」を実施した。
  - 対象：テーマに関心のある方 各回定員20人
  - 日時：第4回 平成25年5月28日
    - 『被災ママ812人が作った子連れ防災手帖』
    - 語り手：Lo 紀子、聞き手：安部芳絵 参加者21人
  - 第5回 平成25年7月17日
    - 『彼女は何を視ているのかー映像表象と欲望の深層』
    - 語り手：河野貴代美、聞き手：新田啓子 参加者25人
  - 第6回 平成25年8月30日
    - 『DVはいまー協働による個人と環境への支援』
    - 語り手：高島克子、聞き手：西山さつき 参加者29人
  - 第7回 平成25年10月24日 『女子会2.0』
    - 対談：水無田気流&石崎裕子 参加者14人
  - 第8回 平成25年12月11日
    - 『女がメディアで生きるーベトナム報道と女性運動のあいだ』
    - 語り手：平松昌子、聞き手：田村綾 参加者25人
  - 第9回 平成26年2月19日
    - 『生理用品の社会史ータプーからー大ビジネスへ』
    - 語り手：田中ひかる、聞き手：山浦麻子 参加者23人

### ③保管図書・財団資料のデータ化など

70年史編纂で使用した財団資料をアーカイブ化するために、国立女性教育会館及び専門家の協力を得て、検討を進める。今年度は写真を中心に整理を実施した。

## 4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に参加して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

### (1) コラボレーション・セミナー

財団が開発したプログラムを基に、各地の団体・機関等と協働で地域のニーズに沿ったセミナーを実施するもので、協働先を公募し、応募7件から4件を採択した。なお、今年度実施4カ所のうち、東日本大震災復興支援事業の一環として、復興支援に取り組む(公財)せんだい男女共同参画財団<エル・ソーラ仙台>で開催した。

内容：a. タイトル：イクメンからイクメンへ！－パパの地域デビューのすすめ

協働先：(公財)せんだい男女共同参画財団 <宮城県>

日時：平成25年6月15日 定員20人 参加者9人

講師：田中雅文

b. タイトル：地域活動を支える“力”をつける－これまでの活動をふり返り、地域再生をめざす

協働先：やまぐちネットワークエコー <山口県>

日時：平成25年9月7日 定員30人 参加者29人

講師：渋江かさね

c. タイトル：キャリアしゃべり場@清泉－働く心に触れよう－

協働先：清泉女学院大学・短期大学キャリア支援センター <長野県>

日時：平成25年10月30日 定員30人 参加者18人

講師：安田 順、キャリアモデル2名

d. タイトル：女子限定プレ就活セミナー～これからの私、なりたい自分～

協働先：静岡市女性会館 <静岡県>

日時：平成25年11月12日 定員30人 参加者26人

講師：大槻奈巳、キャリアモデル2名

### (2) 日本女子会館内外団体との連携

#### ①こども支援士認証講座<アフタースクール>

(NPO法人東京学芸大こども未来研究所との共催)

テーマ：アフタースクールにおいて子どもとかかわりあう力をつける

対象：こどもパートナー認証講座を受講した方

日時：平成25年8月4日～9月1日

場所：日本女子会館会議室、国立オリンピック記念総合青少年センター

#### ②こども支援士認証講座<学校教育支援>

(NPO法人東京学芸大こども未来研究所との共催)

テーマ：学校教育において子どもとかかわりあう力をつける

対象：こどもパートナー認証講座を受講した方

日時：平成 25 年 10 月 5 日～24 日

場所：日本女子会館会議室

③「キックオフフォーラム」図書館・情報担当者をエンパワーする

ー情報事業に関わる女性のキャリアをひらく

(図書館員のキャリア研究フォーラムの主催、財団、国立女性教育会館の共催)

テーマ：図書館および情報事業に関わる女性のキャリアの現状と課題を考える

対象：図書館員、女性関連施設職員等

日時：平成 25 年 7 月 6 日

場所：東京大学柏図書館

④関連団体の会議への参加

a. NPO 法人全国女性会館協議会：総会・全国大会出席

(理事長、学習事業課係長・係員)

b. 国際婦人年連絡会：総会、全体会他 (学習事業課長)

c. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会他 (常務理事)

d. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク ワーキンググループ (理事長)

e. 図書館員のキャリア研究フォーラム (学習事業課長)

⑤大学等への職員派遣

平成 25 年 4 月 26 日 福井県「未来きらりプログラム」講師 (学習事業課係長)

平成 25 年 6 月 3 日 世田谷区男女共同参画センター「平成 25 年度区民企画協働事業」審査委員 (学習事業課長)

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 NVEC「女性関連施設に関する調査研究」研究協力者 (学習事業課長)

平成 25 年 10 月～平成 26 年 2 月 お茶の水女子大学「女性とライフキャリア」講師 (学習事業課係長)

平成 25 年 10 月 16 日 お茶の水女子大学 院生向け就職支援セミナー講師 (学習事業課係長)

(3)生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設を低料金で賃貸している。平成 25 年度は 6 団体、約 215 坪と変動がなかった。

対象団体と面積は以下のとおりである。

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1 階	45.29
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1 階	5.73
3	一般社団法人 農山漁村女性・生活活動支援協会	4 階	17.41
4	特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会	4 階	22.89
5	公益財団法人 さわか福祉財団	7 階	109.76
6	一般社団法人 国際女性教育振興会	8 階	14.09
	計		215.17

## II. 収益事業

平成 25 年度の収益事業収入は 96,270,914 円、経常費用支出は 52,828,205 円であり、収支は 43,442,709 円となり、前年度収支と比較し 5,054,394 円のプラスであった。

公益目的事業会計、法人会計を含む経常収支は、収入:130,360,822 円、支出:141,394,835 円、収支:△11,034,013 円である。次年度へ向けてビル事業のコスト削減を進め、建物管理業務に係る年間契約を交わしている 2 業者に対する減額交渉を実施し、平成 26 年度より年間約 1,420,000 円削減することとなった。

なお、費用支出総額のうち公益目的事業の占める割合は 54.17%で 50%を超えており、公益財団法人としての基準を満たしている。

### 1. 日本女子会館建物の賃貸事業

#### (1) 新規入居テナント

①平成 25 年 12 月、(株)ピーエスシーが 1 階「事務室 2」26.55 坪へ入居。

②平成 26 年 2 月、富久(株)が 4 階「事務室 6」10.88 坪へ入居。

なお、今年度より、新規契約はすべて「定期建物賃貸借契約」を締結することとした。

#### (2) 入居テナントの解約・館内移転/減床

①平成 25 年 6 月、(株)メディカルアソシアが 6 階「事務室 1」51.49 坪を退去。

②平成 25 年 12 月、ボルボテクノロジー・ジャパン(株)より 6 階「事務室 2・3・4・5」73.08 坪の解約通知を受理。平成 26 年 6 月より日本女子会館 4 階「事務室 3」16.46 坪へ移転減床することとなった。

③平成 26 年 1 月、(一社)デジタルラジオ推進協会より 4 階「事務室 3」16.46 坪の解約通知を受理。5 月より日本女子会館 7 階「事務室 5」6.93 坪へ移転減床することとなった。

④平成 26 年 1 月、(株)セブンシーズより 7 階「事務室 5」6.93 坪の解約通知を受理。平成 26 年 6 月末日付で解約。3 月 16 日に退去した。

⑤平成 26 年 3 月、11 月より交渉継続していた(株)ゼネラルアサヒが 4 階「事務室 1」16.50 坪より 6 階「事務室 1」51.49 坪へ 4 月 16 日付移転増床することとなった。期首に 26.55 坪あった空室は、想定外の退去並びに館内移転が重なり期末には 51.49 坪となった。(平成 26 年 6 月時点の空室は、6 階 25.45 坪、6 階 45.49 坪、4 階 16.50 坪の見込)

継続して仲介事業者との関係を強化しつつ空室解消に努める。

### 2. 日本女子会館の維持経営

#### (1) 日本女子会館建物の維持管理

近年の財団収支状況を鑑み、長期修繕計画について先送り可能なものは改修時期を繰り延ばす事の可否を検討するため、清水建設(株)を訪問し、以前行った建物調査結果を基に修繕計画に対するアドバイスを受けた。空調設備関連更新工事は、作動不良等により直接的に被害をもたらすものではなく、現状正常に作動しているものについては一般的耐用年数を根拠に必然的更新を行う必要は必ずしも無く、故障発生時に修理するか更新するかという対応が可能である。水廻りの設備、器具・機械については、突然の作動/機能不良等による二次被害が想定されるため、耐用年数を根拠とする定期的更新が必要である。建築改修工事については、日常的に目視点検を行い、漏水/防水面に注意を払い、劣化の確認ができたもの、部材の落下等人的被害の恐れがあるものから順次更



新していく。この結果、平成25年度の主な更新工事は、3階空調設備更新工事(4,620,000円)、玄関庇防水、軒天井張替、及び照明器具交換(LED電灯)等工事(2,152,500円)、地階厨房ガス給湯器3台更新(テナントと折半;財団負担255,000円)合計7,027,500円であった。

## (2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

平成24年8月30日に第1回委員会開催後、平成25年度は4月、7月、10月、1月と全4回開催した。ゼネコン、デベロッパーのアドバイスも参考にして、大規模修繕、建て替え等様々なケースを想定し、収支、問題点、課題等広範囲な議論を行った。

## Ⅲ. 管理部門

### 1. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
平成25年5月29日 日本女子会館	<p>議題</p> <p>(1)平成24年度事業報告及び決算書の承認について</p> <p>(2)任期満了に伴う理事候補者選任を評議員会に提案することについて</p> <p>(3)平成25年度定時評議員会の日程及び議案について</p> <p>確認事項</p> <p>(1)平成25年度定時評議員会で新理事選任後の代表理事、業務執行理事の選任方法について</p>	承認 承認 決定 決定
平成25年6月6日 書面による同意	<p>提案</p> <p>(1)代表理事：大野 曜、業務執行理事：藤井俊一とする</p>	議決承認
平成25年9月18日 日本女子会館	<p>報告事項</p> <p>(1)平成25年度上半期事業の実施状況について</p> <p>(2)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて</p> <p>議題</p> <p>(1)公益目的事業の今後の方向性について</p>	承認
平成26年3月7日 日本女子会館	<p>報告事項</p> <p>(1)平成25年度下半期の事業の実施状況について</p> <p>(2)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて</p> <p>議題</p> <p>(1)平成26年度事業計画(案)について</p> <p>(2)平成26年度収支予算書(案)について</p> <p>(3)諸規則規定改定(案)について</p>	承認 承認 承認

## 2. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
平成 25 年 6 月 6 日 日本女子会館	議題 (1)平成 24 年度事業報告及び決算書の承認について (2)任期満了に伴う理事の選任について 理事 1 名 任期満了につき退任（菅原政壽） 理事 1 名 辞任（橋本ヒロ子） 理事 11 名 重任（稲葉 昭英、大野 曜、亀田 温子、 清水 正江、高井 正、中澤 智恵、 中村 香、西川 正、深澤 純子、 福沢 恵子、三輪 建二） 理事 2 名 就任（藤井俊一、橋本ヒロ子）  報告事項 (1)平成 25 年度事業計画及び収支予算書について (2)平成 24 年度(新)日本女子会館ビル調査検討のための ワーキンググループの審議概要	可決承認 可決承認

### 事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第 11 条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。